

衆議院予算委員会ニュース

平成 30.2.19 第 196 回国会第 13 号

2 月 19 日（月）、第 13 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 星野剛士君（自民）

補欠選任 理事 宮下一郎君（自民）（理事星野剛士君今 19 日理事辞任につきその補欠）

2 平成 30 年度一般会計予算

平成 30 年度特別会計予算

平成 30 年度政府関係機関予算

- ・麻生財務大臣、野田総務大臣、河野外務大臣、林文部科学大臣、加藤厚生労働大臣、齋藤農林水産大臣、世耕経済産業大臣、石井国土交通大臣、中川環境大臣、小野寺防衛大臣、菅国務大臣、吉野国務大臣、小此木国務大臣、江崎国務大臣、西村内閣官房副長官、高木厚生労働副大臣、政府参考人及び河戸会計検査院長に質疑を行いました。
- ・各案審査のため、岡山県に派遣された委員を代表して福井照君から、静岡県に派遣された委員を代表して菅原一秀君から、それぞれ報告を聴取しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

佐藤英道君（公明）

- ・日EU・EPAによる牛乳乳製品への影響について、政府は、体質強化策や経営安定対策の適切な実施により国内生産量が維持されとの試算を示しているが、これらの取組の実施を保障したものと理解してよいか、齋藤農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・札幌市の共同住宅における火災事故（平成 30 年 1 月 31 日）の再発防止のため、未届施設の法的位置付けの明確化や悪質な事業者に対する規制が必要だと考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・積雪寒冷地における自動運転技術開発については高齢者の移動支援や除雪作業の効率化に資するとの期待が寄せられているが、今後の取組について、石井国土交通大臣の見解を伺いたい。

山崎誠君（立憲）

- ・世耕経済産業大臣の公式ツイッターにおける福島第一原子力発電所視察に関する投稿内容（平成 30 年 1 月 19 日）は、現場の放射線量の実態を誤解させるおそれがあると考えますが、同大臣の見解を伺いたい。
- ・国連人権理事会が勧告を予定している「福島第一原発事故の全ての被災者に国内避難民に関する指導原則を適用すること」への政府の対応方針について伺いたい。
- ・原子力発電のコストに関する政府試算に、福島第一原発の巨額の廃炉費用が含まれているのか、世耕経済産

業大臣に伺いたい。

川内博史君（立憲）

- ・麻生財務大臣による「国税庁前での市民の抗議行動は立憲民主党が主導した」旨の発言は事実と異なっており撤回すべきと考えるが、同大臣の見解を伺いたい。
- ・学校法人森友学園に対する国有地売却事案について、近畿財務局が行った過大な値引きが財政法第 9 条違反となる可能性について、会計検査院の見解を伺いたい。
- ・財務省は同事案に関する交渉記録は破棄したと答弁していたが、その後、経緯が記された法律相談文書が見つかった。財務省は本当に当該文書の存在を確認できていなかったのか伺いたい。

高井崇志君（立憲）

- ・平成 25 年度労働時間等総合実態調査における裁量労働制の労働者と一般労働者の労働時間のデータについて、厚生労働省による精査の結果を伺いたい。
- ・同データについて、裁量労働制の労働者と一般労働者間で調査の内容が異なることを加藤厚生労働大臣が知った時期について伺いたい。
- ・裁量労働制の対象業務の拡大は、問題がある同調査を根拠に検討されており、新たな調査を実施した上で再検討が必要と考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

逢坂誠二君（立憲）

- ・平成 25 年度労働時間等総合実態調査について、用語の定義等、調査の実施方法が現場に浸透していなかったのではないかと伺いたい。
- ・厚生労働省は、労働政策審議会に対して、同調査データを用いて裁量労働制の労働者と一般労働者との労働時間を比較した資料を提出したのか。
- ・同調査データからは、裁量労働制の労働者の方が一般労働者よりも労働時間が短いという結論は得られないと考えるが、厚生労働省の見解を伺いたい。

柚木道義君（希望）

- ・裁量労働制の労働者と一般労働者の労働時間に関する厚生労働省のデータを撤回した件に関し、関係者の責任の所在について調査を実施し当委員会に報告すべきと考えるが、加藤厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・裁量労働制の見直しについては、労働政策審議会から議論をやり直し、同見直しを含む関連法案は一旦撤回すべきではないか。
- ・学校法人森友学園に対する国有地売却事案に関し、佐川国税庁長官に対して国会で説明するよう求める世論が強いことについて、麻生財務大臣の所見を伺いたい。

井出庸生君（希望）

- ・一般労働者の労働時間の算出について、裁量労働制とは異なり、1日の時間外労働の最長時間数に基づいていることを労働政策審議会に示す必要があったのではないかと伺いたい。
- ・裁量労働制に関する政府の調査は、企業側の意見が反映されているため、長時間労働により命を落とされた被害者のご家族の声を直接聞き取るべきではないかと伺いたい。
- ・平成 30 年 1 月の江崎国務大臣の記者会見において、株式会社ジャパンライフに関して、消費者庁元職員が、同社に再就職したことと同社による被害が拡大したこととは関係がないと発言したことの根拠について伺いたい。

渡辺周君（希望）

- ・防衛省による佐賀県での自衛隊ヘリ墜落事故の原因究明調査の現状及び第三者による透明性を確保した同調査を実施する必要があると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・秋田県由利本荘市等における北朝鮮漁船漂着事案につ

いて、上陸した乗組員は作業員であったのか、また上陸する意思を持っていたのか伺いたい。

- ・安倍内閣総理大臣が金永南北朝鮮最高人民会議常任委員長と言葉を交わした際の先方の反応について伺いたい。また、北朝鮮への制裁に関して、ほほえみ外交にどう対応するのか伺いたい。

黒岩宇洋君（無会）

- ・裁量労働制労働者と一般労働者の労働時間に関する厚生労働省のデータについて、加藤厚生労働大臣は 2 月 7 日に同データの精査の報告を受けており、翌 8 日の答弁は虚偽答弁に当たるのではないかと伺いたい。また、報告を受けたことを国民に向けて明らかにしなかった理由を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・教員の働き方改革について何をどう改革するのか林文部科学大臣の見解を伺いたい。
- ・教員一人当たりの授業のコマ数が過大である現状に対して、教員の定数を増やすべきと考えるが、林文部科学大臣、麻生財務大臣の見解を伺いたい。
- ・教員一人に対しての授業のコマ数と労働時間の関係について加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に当たり、開催期間中東京ビッグサイトの一部施設が使用できなくなることで生じる影響への対応について、鈴木東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣に伺いたい。
- ・高等学校への進学率が 96 パーセントを超えているという実態において、これを普通教育と呼んで差支えないのではないかと伺いたい。また、法律上の高等学校の定義について林文部科学大臣に伺いたい。
- ・自衛隊の存立根拠にかかる憲法上の規定について小野寺防衛大臣に伺いたい。